

# インドネシア共和国西ジャワ州の ベチャ(人力車)車夫の体格について

兵頭 圭介

## Some Anthropometrical Values of Becak(tricycle) Drivers in West Java, Republic of Indonesia

Keisuke Hyodo

### Abstract

Some anthropometrical index (body weight, body height, chest girth, leg length, thigh girth and lower leg girth) of Becak (tricycle) drivers and farmers in West Java (Indonesia) were measured. Becak drivers showed heigher body height (Becak drivers: 160.8 ± 4.4cm and farmers: 157.5 ± 3.5cm, P < 0.05), longer leg length (92.1 ± 4.5cm and 87.0 ± 3.0cm, P < 0.01), and greater thigh girth (49.3 ± 3.6cm and 45.6 ± 2.8cm, P < 0.01). This result may be due to the differences in the work intensity and the work characteristics between becak-driving and agricultural work in rural villages.

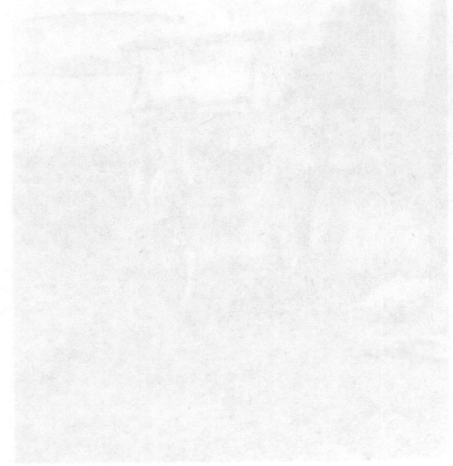


図1 西ジャワ州のベチャ車夫の体格測定の様子。背景には農村の風景が写っている。

## 1. はじめに

発展途上にある東南アジア諸国では、伝統的な産業や技術が、先進諸国から導入される最新の技術と共存して庶民の生活を支えている。都市の交通機関もその例にもれず、欧米諸国や日本等から輸入されたバスやタクシーが走り回る中で、昔ながらの家畜や人力にたよる交通機関も健在である。たとえば、インドネシア共和国の諸都市では、ベチャ (Beca) と呼ばれる乗り物が、バスや乗り合い自動車と共に庶民の主要な公的交通手段と



図2

なっている。これは図1, 2に示すような自転車を改造した一種の三輪車で、横幅約1m, 全長約1.5mの大きさで重さは80~85kg程度のものである。前半部の、車輪が2つ横にならべてある部分に座席がとりつけてあり、ここに荷物や客 (通常1~2人) を乗せて、後部のサドルに図1のよう

にして車夫が座り、ペダルを漕いで走る。Soegijokoらの調査によれば、ベチャ車夫が客を乗せて移動する距離は平均して1.0~2.4km, その殆んどが1km程度で10kmを超えることは殆んどない<sup>1)</sup>。1回の輸送に費す時間は10~20分程度で、バスターミナルから役所や市場、家の戸口までといった近距離で、小規模の輸送に使用されている。ベチャ車夫達は、バスや乗り合い自動車の通る広い道路の交差点や役所の門口、市場、バスターミナルなどに自分達の拠点をもち、そこにベチャを停めて客の来るのを待つ。客が来ると客との間で運賃の交渉が行なわれ、妥協が成立すると客を乗せて目的地まで行き、運賃をもらって再び自分の拠点に戻る。1回の輸送でベチャ車夫の受け取る報酬は50~100 Rp. [Rp. (ルピア) はインドネシアの貨幣単位で1ルピアは日本円で0.4円。従って50~100 Rp. は20~40円] 程度で、1日の収入は大体450~900 Rp. (180~360円) 程度である<sup>2)</sup>。

1日の食費とベチャの賃貸料 (多くのベチャ車夫達は専門の業者から日ぎめで料金を払ってベチャを借りている<sup>3)</sup>) で収入の大半は失なわれてしまう。ベチャ車夫のほとんどが、農村出身で、土地を持たず、農家に雇われて働く農業労働者の階層に属する。

著者は、1981年7月~10月の間、インドネシア共和国バンドン市に滞在し、滞在期間中ベチャ車夫の身体計測、安静時および作業中の心拍数等について調査する機会を得た。今回は身体計測の結果について報告する。

## 2. 対象と方法

インドネシア共和国西ジャワ州バンドン市で調査を行なった。(図3) バンドン市は、ジャワ島西部に位置する標高600~700mの高原都市で人口は約130万人、坂の多い町である。ベチャ車夫の集まるターミナルは市内に102カ所あるといわれているが<sup>4)</sup> (図4), その中から1カ所を選び、そのターミナルを拠点としているベチャ車夫14名の身長、体重、胸囲、大腿最大周径囲 (左足)、下腿最大周径囲 (左足) を測定した。測定対象となったベチャ車夫は、いずれもバンドン市近郊の農村から出稼ぎに出ている者で、家族を村に残している者が多い。

測定の精度は、身長、胸囲、大腿最大周径囲は0.1cmで、体重は0.1kgである。測定は、心拍数測定とのかねあいから、ベチャ車夫の就業直前 (午前6時頃) に行なわれた。

図1